

第 195 回幹事会議事要旨

日 時 平成 26 年 6 月 27 日 (金) 13:30~20:00
場 所 日本学術会議大会議室
出席者 (会長) 大西 隆
(副会長) 小林 良彰、家 泰弘、春日 文子
(第一部) 佐藤 学、大沢 真理、井野瀬 久美恵、杉田 敦
(第二部) 山本 正幸、生源寺 眞一、須田 年生、長野 哲雄
(第三部) 荒川 泰彦、巽 和行、相原 博昭

(事務局長) 田口 和也
(事務局次長) 飯島 信也
(課長等) 渡邊 清、檀原 均、中澤 貴生、盛田 謙二、佐藤 正一

審議事項等

- 1 前回議事要旨の確認が行われた。
- 2 前回の幹事会以降の諸報告事項について確認が行われた。
- 3 以下の公開審議が行われた。
 - (1) 科学者委員会における分科会委員 (1 分科会) を決定した。
 - (2) 分野別委員会運営要綱の一部改正 (新規設置 1 件) 及び分科会委員 (1 分科会) を決定した。
 - 新規設置
 - ・総合工学委員会 エネルギーと科学技術に関する分科会 「大型レーザーによる高エネルギー密度科学研究の新展開」に関する小委員会
 - (3) 提言「科学と社会のよりよい関係に向けて一福島原発災害後の信頼喪失を踏まえて一」について、第一部福島原発災害後の科学と社会のあり方を問う分科会の島菌委員長、杉田幹事及び吉川特別委員より説明があり、審議の結果、提言 (案) の扱いについて、会長において第一部及び福島原発災害後の科学と社会のあり方を問う分科会と相談の上、検討することとなった。
 - (4) 報告「社会理論の復興をめざして」について、社会学委員会社会理論分科会の友枝委員長及び遠藤副委員長より説明があり、審議の結果、報告 (案) の扱いについて、会長において第一部及び社会理論分科会と相談の上、検討することとなった。
 - (5) 提言「最近の対外的緊張関係の解消と日本における多文化共生の確立に向けて」について、地域研究委員会地域研究基盤整備分科会の小松委員長及び酒井委員より説明があり、審議の結果、分科会において改めて検討することとなった。
 - (6) 提言「人文学的アジア研究の振興に関する提言」について、言語・文学委員会・哲学委員会・史学委員会・地域研究委員会合同アジア研究・対アジア関係

に関する分科会の久保委員長及び小松副委員長より説明があり、審議の結果、所要の修文を行い、会長の確認を得ることを条件に承認した。

- (7) 報告「福島原発事故による放射能汚染と森林、林業、木材関連産業への影響－現状及び問題点－」について、農学委員会林学分科会の川井委員長及び田中幹事より説明があり、審議の結果、所要の修文を行うことを条件に承認した。
 - (8) 提言「超高齢社会における運動器の健康－健康寿命延伸に向けて－」について、臨床医学委員会運動器分科会の中村委員長及び戸山委員より説明があり、審議の結果、所要の修文を行い、会長及び第二部の確認を得ることを条件に承認した。
 - (9) 提言「昆虫分類・多様性研究の飛躍的な拡充と基盤整備の必要性」について、農学委員会応用昆虫学分科会の嶋田委員長及び多田内委員より説明があり、審議の結果、所要の修文を行い、会長及び第二部の確認を得ることを条件に承認した。
 - (10) 提言「健やかな次世代育成に関する提言」について、臨床医学委員会出生・発達分科会の桃井委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長及び第二部の確認を得ることを条件に承認した。
 - (11) 報告「植物における新育種技術（NPBT：New Plant Breeding Techniques）の現状と課題」について、農学委員会・食料科学委員会合同遺伝子組換え作物分科会の佐藤委員長及び西尾副委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長及び第二部の確認を得ることを条件に承認した。
 - (12) 報告「わが国における消化器疾患の近未来の動向と対策」について、臨床医学委員会消化器分科会の幕内委員長及び三輪委員より説明があり、審議の結果、所要の修正を行い、会長及び第二部の確認を得ることを条件に承認した。
 - (13) 提言「放射能汚染地における除染の推進について～現実を直視した科学的な除染を～」について、農学委員会土壌科学分科会の三輪委員長及び森委員より説明があり、審議の結果、提言（案）の扱いについては、会長において第二部と相談の上、検討することとなった。
 - (14) 提言「教育における多文化共生」について、地域研究委員会多文化共生分科会の山本委員長及び関根副委員長より説明があり、審議の結果、提言（案）の扱いについて、会長において第一部と相談の上、検討することとなった。
 - (15) 日本学術会議細則の一部改正について総会の議決を求めることを決定した。
 - (16) 日本学術会議事務局組織規則の一部を改正する規則について総会の議決を求めることを決定した。
 - (17) 日本学術会議協力学術研究団体の指定（5団体）を承認した。
 - (20) 21件のシンポジウム等の開催、7件の国内会議の後援を決定した。
- 4 その他事項として、第167回臨時総会の次第及び今後の幹事会開催日程について確認が行われた。また、春日副会長から、日本学術会議が推薦を行った第三部の吉野博会員が、第14回アジア学術会議(14th Science Council of Asia Conference)において、アジア学術会議事務局長に選任されたとの報告があった。
- 5 以下の非公開審議が行われた。
- (1) 会員候補者の選考について総会の議決を求めることを承認した。
 - (2) 東日本大震災復興支援委員会における分科会委員（特任連携会員）を決定し

た。

- (3) 分野別委員会における分科会委員（特任連携会員）及び小委員会委員を決定した。

特段の事情を考慮し、社会学委員会社会学分野の参照基準検討分科会に、複数名の特任連携会員を決定した。

（社会学部や社会学科のない大学での教育体験がある人材が不可欠であるため。）